

1月12日（日） 国際教養大学訪問「パスポートのいない海外留学体験」



秋田市雄和（ゆうわ）にある国際教養大学に到着！大田区の小学6年生、中学生、高校生と、横手市大森の中学生が参加しました。



まずは、本日お世話になる教養大の職員の方にあいさつしました。



教養大の職員の方から、大学の特色や学生の生活の様子などを紹介していただきました。



大学の中を見学しました。こちらの図書館は24時間365日開館しているそうです。県特産の「秋田杉」をふんだんに使った半円形の形の建物が素敵でした。



留学生が子どもたちに図書館の内部を紹介してくれました。日本語がとても上手でした。



学生の皆さんとの交流タイムが始まりました。留学生が3人と、日本人学生が2人参加してくれました。まずは、一人ずつ英語で自己紹介。みんなすぐに5人の名前や出身地を覚えていました。



3グループに分かれて交流しました。
こちらの小学生のグループではアメリカ出身のジョンさんがお話をしてくれました。



すでに小学校で英語活動を行っている子どもたちは、大人が思っていた以上に英語でのコミュニケーションがスムーズで、臆することなく笑顔で会話を楽しんでいました。



アメリカのドル紙幣を見せてもらいました。
日本のお金との違いを発見したり、紙幣に印刷されている肖像画の人物を教えてもらったりしました。



こちらは中学・高校生グループ。
メキシコ出身のエドガーさんと、大阪出身の福力さんがお話をしてくれました。



難しい英単語などは、福力さんがフォローしてくれましたが、さすがは中学・高校生の皆さん、ただ聞くだけでなく、気になったところは聞き返したり、メキシコの文化などについて質問をしたりと、大変盛り上がりました。



こちらは中学1・2年生グループ。
カナダ出身のクリストファーさんと岩手県出身の高橋さんがお話をしてくれました。
クリストファーさんお気に入りのカナダの不思議な調味料もみんなに味見させてくれました。「醤油っぽい!」「ソースに似ている?」など今まで食べたことのない不思議な味を楽しみました。



一人ひとりが英語で自己紹介をしました。緊張していたようですが、とっても上手でした。クリストファーさんからの質問にも答えることができました。



みんなで記念撮影！



ランチは、学生さんと一緒に。留学生の方が箸を上手に使ってうどんを食べているのに驚いたり、手品を見せてもらったりしながら楽しく美味しい時間を過ごしました。



お別れの時には、すっかり仲良しに。バスに乗る直前まで、学生さんたちからサインをもらったり、一緒に雪遊びをしたりと交流を楽しみました。



生き生きと大学生活を送る学生さんたちの姿を見て、特に中学・高校生の参加者は、色々な刺激を受けたようです。



お礼の気持ちを込めて
「Thank you !」

【大田区の引率者の感想より】

- ・ 国際教養大学はテレビ等で有名で、(秋田訪問前に) お母さん方から「楽しみにしています」との声が多かった。小学校6年生の子どもたちも留学生や在學生に優しい対応をしてもらい、とても楽しく大学生活を見学する事が出来た。
- ・ 普段の生活の中では、大学生の話聞くことが無いので、とても良い機会だった。皆自分の目標があり、それに向かってぶれずに頑張る力の強い学生ばかりで、意思と信念がちゃんとあると思った。学生さんが子どもたちと雪遊びをしている姿が嬉しかった。
- ・ 大学訪問は高校生にとってとても重要。 国際教養大学は、近年著しく成長(偏差値や就職などで)している注目の大学だったので、この機会に行く事が出来て良かった。